

## 平成26年度農村振興・環境保全優良活動 知事賞受賞団体の紹介

はっちょう

### 八町地区環境改善活動組織(富山市)

活動エリアが広く、世帯も多い中、用排水路の草刈・泥上げ等の活動にほぼ全世帯からの参加があり、地域の世帯間、農家・非農家間の交流が盛んに行われている。

水路法面における防草対策として除草剤を多く使用してきたが、環境に好ましくないこと、農業従事者の高齢化により水路全線の維持管理が困難となってきたことを考慮し、張ブロックの設置を直営施工で行ってきた。

農家、非農家及び児童クラブが一緒になって水路法面にヒメイワダレソウを植栽し、景観形成にも努めている。



ヒメイワダレソウの植栽

さとやま

### 里山活性化協議会(高岡市)

国吉地域の各種団体により協議会を組織し、都市里山交流活動、里山保全技術の伝承、地場農産物の直売等の地域活性化に取り組んでいる。

都市住民向けの農園オーナー制度では、野菜毎に作業日を設け、プロ農家が指導にあたるほか、オーナーと地域住民との交流も深めている。季節に合わせた多様な里山体験メニューにより、都市住民との交流イベントを毎月開催している。

農山村体験「とやま帰農塾」では、旬の食材を利用した料理を提供するなど、里山の魅力を楽しめる体験が県内外の参加者に好評である。



古民家を活用した「とやま帰農塾」交流会

くろだに・あけび

### 黒谷・山女集落(魚津市)

黒谷集落と小規模・高齢化が進む山女集落が連携し、共同活動に取り組んでいる。水路・農道の草刈や鳥獣害対策などの活動には、老若男女みんなに声をかけ、高校生も参加するなど、地域住民の繋がりが以前にも増して深まっている。

サルによる自家菜園の食害対策として、休耕田を電気柵で囲み、集落住民の共用菜園を設置し、住民が安心して自家野菜を栽培できるよう工夫している。

これらの活動が、耕作放棄地の発生防止や新規就農者の確保に繋がっている。



2集落連携による共同活動

あかけ

### 赤毛集落(氷見市)

減農薬減化学肥料で栽培した「とやま氷見赤毛米」を、いきいき富山館等へ直接販売している。その結果、首都圏で徐々にリピーターが増え、売り上げを伸ばしている。

また、山菜を採り、市内の「いきいき直売の会」に出荷する共同作業を通じて、コミュニケーションが深まっている。

イノシシによる農作物被害対策として、集落ぐるみの電気柵の整備を進め、被害軽減に取り組んでいる。



山菜収穫、出荷の共同作業

ごかだね

### 五ヶ種ふるさとを守る会(砺波市)

ふれあい広場の花壇の整備や、野菜を植栽して収穫祭を行う等、共同作業の回数が増え、地域住民相互の繋がりが強くなった。

老朽化した用排水路の補修について専門家の指導も受けながら自主施工で行うとともに、隣接地区と協力して両地区を流れる水路の維持管理や資源向上に努めている。

地域の子供たちに農業用水の保全をテーマに看板に絵を描いてもらい環境保全への関心が高まっており、広報誌を年数回発行し、啓発普及に努めている。



子供たちが描いた農業用水の保全看板